

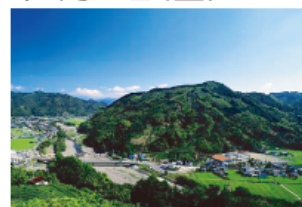
FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail:club1991@fujieda-rotary.org

会長：伊藤 彰彦 副会長：内山 淑夫 幹事：渡邊 芳隆 副幹事：竹田 敏和

第1127回



<http://www.fujieda-rotary.org>

- ソング 我等の生業・若者たち
- ソングリーダー 平原 望君

■ 会長報告

伊藤 彰彦君

みなさん、こんにちは。本日は第3例会で米山奨学生のベト君が来てくれますので、恒例の日本の行事についてお話しさせていただきます。



明日3月21日は春分の日です。春に太陽が真東から昇り、真西に沈む日が春分の日だということです。この日は昼と夜の長さがほぼ同じで、この日から次第に昼の時間の方が長くなっていく日です。この時期は春の彼岸と言って先祖の墓参りをするのが習わしとなっています。

この、彼岸に墓参りに行くという風習は仏教の行事ですが、同じ仏教国の中国やインドではこうした彼岸に墓参りをする事はないようです。そもそも、聖徳太子の時代に始まったと言われ、当時はただご先祖の供養だけではなく、仏道の精進としての期間として彼岸を設けていた日本独特の行事といわれています。

ちなみに、彼岸には牡丹餅を食べますが、この「牡丹餅」と「おはぎ」の違いは皆さんご存知ですか？実はおはぎと牡丹餅は基本的には同じもので、違うのは食べる時期の違いでしかないということです。春は牡丹の季節ですから「牡丹餅」といって、秋は「萩」の季節ですから「お萩」というだけのようです。でも、最近は春秋使い分けず年中「おはぎ」と

いって売っている店が多いようです。

では、何故彼岸に食べるようになったかという、歴史的には江戸時代にさかのぼるようです。あずきの赤色には、災難が身に降りかからないようにするおまじないの効果があると信じられており、邪気を払う食べ物としての信仰が先祖の供養と結びついたと言われていました。

四十九日の忌明けやお彼岸に食べるのはこんな理由からだったということで、本日の私の会長挨拶を終了させていただきます。

■ 幹事報告

渡邊 芳隆君

・お花畑実行委員会より

3月15日に行われました「お花畑でお話し会」の感謝状が届いております。

■ 出席報告

富澤 賢一君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
35/46 76.08%	40/46 86.95%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○植田君 ○内山君 ○漆畑君 ○樽井君
 ○望月君 ○多々良君 池谷君 江崎君
 鈴木寿君 中村君 川口君

(2)メイクアップ者

鈴木 寿幸君 (IM) 早川 清人君 (IM)

■ 外部卓話

『食と健康 スポーツ栄養のキホン』
 講演 食の学び舎くるみ
 管理栄養士・調理師 中野ヤスコ様



■ 奨学金授与

米山奨学生
 ドーベトクーン君



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
3/27(金) 第 1128 回	会員卓話⑩⑪	
4/3(金) 第 1129 回	お花見例会	野外例会 (富洞院)
4/10(金) 第 1130 回	会員卓話⑯⑰	
4/17(金) 第 1131 回	会員卓話⑳㉑	

(担当／飯田君)